

栃木県教育委員会定例会会議録

令和元(2019)年8月7日(水)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員会室に招集した。

1 出席者(教育長及び委員)は次のとおりである。

1 番(教育長)	荒川	政利
2 番	陣内	雄次
3 番	吉澤	慎太郎
4 番	鈴木	純美子
5 番	工藤	敬子
6 番	金子	達也(欠席)

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教育次長	辻	真夫
教育次長	池田	聖
総合教育センター所長	菅谷	毅
総務課長	桜井	裕
施設課長	齋藤	淳
学校安全課長	伊澤	純一
義務教育課長	柳田	伸二
高校教育課長	中村	千浩
特別支援教育室長	松本	美智代
生涯学習課長	野原	正祥
スポーツ振興課長	高橋	貴子
文化財課長	石川	明範
総務主幹	浅野	尚志
福利室長	小倉	敬子
競技力向上対策室長	青井	智也
世界遺産登録推進室長	佐藤	光正

3 午前9時30分、教育長及び委員4名が出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、本日の会議録署名委員に2番陣内委員を指名した。

5 教育長は、本日の議案等のうち、第1号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨を諮ったところ、全出席者の賛成により非公開とすることに決定した。

6 教育長は、報告を受ける旨を告げた。

7 報 告

(1) 令和2(2020)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験第1次試験合格発表について

教育長から説明を求められ、義務教育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

[委 員]

- ・ 受験者が減る傾向が続いているが、今後の対策等は考えているのか。

[事務局]

- ・ 非常に頭を悩ませているところではあるが、試験の内容、応募の仕方等に関して、なるべく受験者の立場に立ったものにしたいと考えている。また、働き方改革等も進めているので、教員の全体の働きやすさ等も含めて、今後考えていきたいと思っている。

[委 員]

- ・ 試験の方法については、これまでの色々な経験の中で、現在の形になっているのだと思うが、これから教育現場が大きく変わっていかねばならない中で、それにマッチした試験方法になっているかというところから、根本的に考える時代になっていると思う。もちろんそれは文部科学省において検討するものであると思うが、そういうことをきちんと先行して検討すべきだと思う。
- ・ それと併せて、教員免許は持っているが、教員になっていないという方がたくさんいる。先ほど説明があったように、働き方改革も含めてということになると思うが、教職というものの魅力を高めていかない限りは、受験者が増えていかない。今後、総合的に検討していただければと思う。

[教育長]

- ・ 重い課題の提起があったが、今の段階で事務局から何かあるか。

[事務局]

- ・ 試験内容については、これまでも様々な検討を重ねてきており、その都度中身を変えてきた経緯がある。引き続き、時代に合った形での選考内容となるよう検討していきたいと考えている。
- ・ 教員の魅力という点については、担当が大学に伺い、本県の採用試験について説明を行っている。大学側からも、教員免許を取る学生が少なくなっているという情報があるため、大学3、4年生を対象とするのではなく、もう少し早い段階の学生、もう少し若い世代に教員の魅力を伝えられるような取組を考えてはどうかという話をしている。今後、具体的な取組を検討していきたい。

[委 員]

- ・ 「一部試験を免除した選考」、「障害のある方を対象とした選考」については、「応募者がいなかった」、「合格者はいなかった」とあるが、この結果を見て、どのように課題を捉えて、今後の対策を考えているのか。

[事務局]

- ・ 新規採用教員の選考要項については、実際に様々な特別選考あるいは加点制度があり、どんどん膨れあがっているような状況である。特別選考については、見直しが必要なのではないかと考えているところである。応募がなかったのを外すというよりは、これらが有効な特別選考枠として働いているのかどうか、局内からも意見をいただき、選考要項を定めていきたいと考えている。

[教育長]

- ・ 現状を踏まえて、この状態を打破するためにはどういう手立てを講じればいいのかということ局内でもしっかりと議論していきたい。先生方からも御意見等があればお願いしたい。

(2) 栃木県産業教育審議会建議について

教育長から説明を求められ、高校教育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

[委員]

- ・ この建議については専門高校が中心になると思うが、今は、PBL(問題解決型学習)も非常に重要であるので、普通高校にも目を向けてもらいたい。PBLによって、普通高校に通っている生徒たちの学びだけでなく、先生たちの学びへと展開されていくと思うので、そういったところも今後参考にさせていただきたいと考えている。
- ・ これは産業界との協働であるので、受け入れ先としてはきちんとした企業体ということがメインだと思うが、世の中には個人レベルで面白い仕事をしている方がたくさんいる。そういうところでは、インターンシップ等の受け入れは厳しいことは分かっているが、もったいないと思う。地域の中にそういう良い資源がたくさんあるので、その辺りにもう少し目を向けてもらえるといいと思っている。

[教育長]

- ・ 正にこれからの時代というのは、そういう方々の協力なくしてはうまく回っていかないと思うので、そういう部分で開拓もしっかりとやっていく必要があると思う。

[委員]

- ・ この会議の開催回数については、検討しているのか。

[事務局]

- ・ 産業教育審議会は、以前は3年で1サイクルということで、3年間で建議をいただいていた。今回の議案については2年間で建議をいただき、会議の開催回数は8回であった。サイクルが若干短くなったため、こちらの変更に対応できるような建議ということで、御意見をいただいたところである。

[委員]

- ・ 工業系の高校には学校訪問で行かせていただくことが多いが、時代遅れの機械を教材として使用していることを目にするところがある。予算的に難しい部分もあると思うが、時代にマッチしていない学びを高校でするということが果たしてどうなのかと感じている。
- ・ デンマークには職業訓練校が町の至るところにあり、その中に高校の単位が取れる仕組みも組み込まれていて、正に最先端の技術を高校生たちが学んでおり、また、社会人の方たちも学び直しに来ている。今の日本の教育では難しいところはあるかもしれないが、こういった技術系の部分に関しては、高校教育と職業訓練が融合しながら展開していくということも、選択肢の一つとしてあってもいいのではないかと考えている。

[事務局]

- ・ 御指摘の内容については、建議の中で委員からも意見をいただいている。最先端の技術を高校がリニューアルしていくということは難しい。その部分をどのような工夫で補うかということで、企業との連携や、インターンシップに参加することによって、単位に結びつける学校がある。そういう取組が今後必要であるということが建議に記載されているので、引き続き検討していきたいと思っている。

8 教育長は、一部順番を入れ替え、審議に移る旨を告げた。

9 第2号議案 令和2(2020)年度県立中学校で使用する教科用図書の採択について

教育長は、第2号議案の教科用図書の採択方法について、「特別の教科 道徳」以外の教科用図書については、無記名投票の方法により行うことを全出席者に諮ったところ、全出席者異議なく無記名投票の方法により行うことに決定した。

教育長は、開票の立会人に陣内委員を指名した。

第2号議案は、「特別の教科 道徳」以外の教科用図書については無記名投票、「特別の教科 道徳」の教科用図書については審議の結果、別添のとおり採択された。

この議案に関して、委員から質問や意見はなかった。

10 第3号議案 令和2(2020)年度県立特別支援学校の小学部及び中学部で使用する教科用図書の採択について

第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

この議案に関して、出席者から質問や意見はなかった。

11 教育長は、第1号議案については、先の決定のとおり、非公開で報告を受ける旨を告げた。

12 第1号議案 公立小学校長等の人事について

第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

13 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前10時53分、閉会した。

令和2（2020）年度県立宇都宮東高等学校附属中学校で使用する教科用図書一覧

種 目	教科用図書（発行者・書名）
国 語	東京書籍株式会社 新編 新しい国語
書 写	教育出版株式会社 中学書写
社会（地理的分野）	株式会社 帝国書院 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会（歴史的分野）	東京書籍株式会社 新編 新しい社会 歴史
社会（公民的分野）	東京書籍株式会社 新編 新しい社会 公民
地 図	株式会社 帝国書院 中学校社会科地図
数 学	数研出版株式会社 中学校数学
理 科	株式会社 新興出版社啓林館 未来へひろがるサイエンス
音楽（一般）	株式会社 教育芸術社 中学生の音楽
音楽（器楽合奏）	株式会社 教育芸術社 中学生の器楽
美 術	日本文教出版株式会社 美 術
保健体育	株式会社 大修館書店 保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍株式会社 新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭分野)	東京書籍株式会社 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英 語	教育出版株式会社 ONE WORLD English Course
道 徳	東京書籍株式会社 新しい道徳

令和2（2020）年度県立佐野高等学校附属中学校で使用する教科用図書一覧

種 目	教科用図書（発行者・書名）
国 語	東京書籍株式会社 新編 新しい国語
書 写	東京書籍株式会社 新編 新しい書写
社会（地理的分野）	株式会社 帝国書院 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会（歴史的分野）	株式会社 帝国書院 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
社会（公民的分野）	教育出版株式会社 中学社会 公民 とともに生きる
地 図	株式会社 帝国書院 中学校社会科地図
数 学	教育出版株式会社 中学数学
理 科	株式会社 新興出版社啓林館 未来へひろがるサイエンス
音楽（一般）	教育出版株式会社 中学音楽 音楽のおくりもの
音楽（器楽合奏）	教育出版株式会社 中学器楽 音楽のおくりもの
美 術	日本文教出版株式会社 美 術
保健体育	株式会社 学研教育みらい 新・中学保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍株式会社 新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭分野)	教育図書株式会社 新技術・家庭 家庭分野
英 語	株式会社 三省堂 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition
道 徳	光村図書出版株式会社 中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

令和2（2020）年度県立矢板東高等学校附属中学校で使用する教科用図書一覧

種 目	教科用図書（発行者・書名）
国 語	東京書籍株式会社 新編 新しい国語
書 写	東京書籍株式会社 新編 新しい書写
社会（地理的分野）	株式会社 帝国書院 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会（歴史的分野）	東京書籍株式会社 新編 新しい社会 歴史
社会（公民的分野）	日本文教出版株式会社 中学社会 公民的分野
地 図	株式会社 帝国書院 中学校社会科地図
数 学	東京書籍株式会社 新編 新しい数学
理 科	株式会社 新興出版社啓林館 未来へひろがるサイエンス
音楽（一般）	株式会社 教育芸術社 中学生の音楽
音楽（器楽合奏）	株式会社 教育芸術社 中学生の器楽
美 術	日本文教出版株式会社 美 術
保健体育	株式会社 大修館書店 保健体育
技術・家庭(技術分野)	開隆堂出版株式会社 技術・家庭 （技術分野）
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂出版株式会社 技術・家庭 （家庭分野）
英 語	東京書籍株式会社 NEW HORIZON English Course
道 徳	東京書籍株式会社 新しい道徳